

組体操 安全確保のためのチェックリスト

年 月 日 () 第 校時

記入者 ()

指導内容・体制について

項目	確認
1 児童生徒に守るべきルールを徹底した。 (例) 緊張感を持って集中して取り組む。身だしなみを整える。 指示をしっかりと聞く。自由練習はしない。 *身だしなみ…服装を整える、髪を束ねる、爪を切る等	
2 児童生徒に技の危険性について理解させ、危険回避の方法等を指導した。	
3 運動の特性に合った準備運動を行った。 (例) 首、肩、手首、足首、背中等のストレッチ	
4 技の役割分担は、体格や運動技能、心情等に配慮し、児童の納得のもとに活動を行った。	
5 段階的な指導や個別指導を適切に行った。	
6 児童生徒が集中できる時間内で指導した。	
7 補助のポイントや役割等、共通理解を図って組織的に指導した。	

環境に応じた指導について

項目	確認
1 天候、気温や湿度、学習活動場所の状況に応じた指導をした。	
2 児童生徒の体調を十分に留意した無理のない指導をした。 (例) 適度な休憩、給水時間の確保	

安全な指導について

項目	確認
1 安全確保のために必要に応じて、マットを敷く等用具の活用や適切な練習場所を選定する等、環境の整備を図った。	
2 児童生徒の技の習熟度に応じ、適時適切に内容や指導方法を見直し、安全な状態で技が実施できないと判断したので技の実施を見合わせた。	

安全な指導を行うために

※上記チェック項目で『×』があった場合、次時の学習に向けた指導計画や指導内容、指導体制、安全対策等について改善策を記入すること。

※学習後、毎回実施すること。